

【編集後記】

今回のプラントエンジニアリング特集号の編集に携わり、執筆をお願いした方々の積極的な姿勢が強く印象に残っています。例えば大同マシナリー殿は、客先との接点の中からプラントに対する新たなニーズを見つけ出し、自らの力で製品を練り上げる力に長けると気付きましたが、その根底には製品開発に対する普段からの積極的な姿勢がありそうです。日本ガス協会殿は今回の記事執筆をチャンスととらえていただき、新たなエネルギーインフラに対しての取り組みについてデータを集め、記事としてまとめてくださいました。また高村先生との議論は非常に記憶に残るものとなりました。先生から「従来技術の改良が重要であることは疑うまでもない。しかし時として過去の常識を捨て去り『この設備の真の目的は何か。それを現在もしくは未来の技術を使って組み立て直すとしたらどのようなようになるか』を懸命に考えるべきである。」との考えを学ぶことができました。

私の電気製鋼の編集責任者としての活動は本号の発刊をもって一区切りとなりますが、執筆者の皆さまから教わった姿勢を今後の弊社の商品開発に活かしていきたいと思えます。そしてその開発成果を次回「プラントエンジニアリング特集号」で紹介できたなら、編集責任者冥利に尽きるのではないのでしょうか。

最後となりましたが、本誌の発刊にご協力いただきました執筆者の皆さまに深くお礼申し上げます。また技報の編集という慣れない作業をサポートいただきました弊社機械事業部の皆さまに心から感謝を申し上げます。

(編集責任者：北林庄治)

電気製鋼編集委員会

委員長	羽生田 智 紀							
委員	秋 田 康 明	東 真一郎	天 野 肇	石 黒 武				
	入 山 恭 彦	遠 藤 博 司	川 西 邦 仁	木 村 利 光				
	志 村 進 辻	本 敏	長 島 友 孝	中 原 修 二				
	成 瀬 真 司	野 口 裕 明	秦 野 敦 臣	平 林 一 彦				
	松 淵 周 司	吉 永 祐 孝						

電気製鋼／大同特殊鋼技報 第84巻 第2号（不許転載）

2013年12月20日 印刷

2013年12月26日 発行（年2回発行 非売品）

編集発行人 羽生田 智紀

発行所 大同特殊鋼株式会社 研究開発本部
〒457-8545 名古屋市南区大同町2-30
<http://www.daido.co.jp/about/rd/index.html>

印刷所 株式会社大同ライフサービス
〒457-0819 名古屋市南区滝春町9
<http://www.daidolife.co.jp>

DENKI-SEIKO ELECTRIC FURNACE STEEL Vol.84 No.2 2013 All rights reserved.

Published by Daido Corporate Research & Development Center, Daido Steel Co., Ltd.

Address : 2-30 Daido-cho, Minami-ku, Nagoya, Japan 457-8545

Tel. 81-52-611-9413 Fax. 81-52-611-9004

お問合せ先 大同特殊鋼株式会社 研究開発本部内 電気製鋼編集委員会事務局

〒457-8545 名古屋市南区大同町2-30

Tel. 052(611) 9413（直） Fax. 052(611) 9004